「心と体のかすがい健康計画2035」の推進状況の概要について

1. 目標(アウトカム)の現状値

項目	基準値 (令和4年度)		現状値 (令和5年度)		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
平均寿命	81.98	87.58	数値が確定していないため、 確定次第追記いたします。											
健康寿命	80.56	84.40	数値が確定していないため、 確定次第追記いたします。											
自殺死亡率	16.1%		19.75%											

項目	中間目標 (令和11年度)		令和12年度		令和13年度		令和14年度		令和15年度		最終目標 (令和16年度)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
平均寿命	基準値より 上回る										平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	
健康寿命												
自殺死亡率	11.27 以下										国の次期「自殺 総合対策大綱」 による	

2. 成果指標(アウトプット)の現状値

施策	項目	基準値 (令和4年度)	現状値 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	中間目標 (令和11年度)	最終目標 (令和16年度)	
基本方針1 自分の健康は 自分でつくる	1 生活習慣 病の一次 予防	市公式LINEの「健康・医療」登録者数	3,889人	6,007人					11,000人	16,000人	
		後期高齢者歯科健診の受診率	—	16.4%	令和5年度の愛知県 平均値は未確定。 令和4年度の数値は 大腸がん 12.1% 肺がん 13.4%				18.0%	20.0%	
	2 生活習慣 病の二次 予防	がん検診の 受診率	大腸がん	9.7%	9.3%					愛知県平 均値を上 回る	愛知県平 均値を上 回る
			肺がん	11.3%	11.1%						
		特定健康診査の受診率	34.9%	34.5%					40.0%	※	
基本方針2 健康を支える環境をつくる	食生活改善推進員（ヘルスマイト）の登録者数 (全登録者数)		61人	69人					120人	170人	
		健康マイスター登録者数 (全登録者数)	94人	86人					160人	210人	
基本方針3 心の健康をまもる 【自殺対策計画部分】	ゲートキーパー養成者数 (全養成者数) ※累計	1,716人	1,958人						3,200人	4,200人	

2. 令和5年度の主な実績と評価

施策1 生活習慣病の一次予防

①栄養・食生活 〈重点施策〉 適正体重や望ましい食習慣の実践に関する周知啓発

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) 健康づくり出前講座	実施回数 49 回、参加者数 739 人	増
(2) 食生活改善事業	出張料理教室 4回 58人 寄り道栄養プチレッスン 3回 76人 等	増

【取組みの評価及び今後の方向性】

コロナの教訓を踏まえた人々の活動やイベントの実施など、コロナ前の日常が戻ってきた年度（以下「コロナ後」という。）であり、出前講座や教室の実績は伸びている。

市民の参加意欲が高まり、各世代が栄養・食生活の健康づくりのきっかけとなるよう、今後も引き続き、内容の創意工夫を行いながら実施していく。

②身体活動・運動 〈重点施策〉 日常生活の中で身体を動かす意識の醸成と周知啓発

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) 歩こうマップ新コース コンテストの開催	既存の 13 コースに加え、新たに 3 コースを 追加	増
(2) 歩こうマップ mini の作 成、配布	新 3 コースを掲載、1,892 部配布 (従来の歩こうマップは、2,900 部配布)	増
(3) 高齢者の保健事業と介 護予防等の一体的な実施	日常生活圏域 6 地区で実施	増 (前年度 1 地区)

【取組みの評価及び今後の方向性】

日常生活の中で身体を動かすきっかけづくりを目的とした歩こうマップは、新たな 3 コースを加えたことで内容が充実した。今後も引き続き、当マップを啓発媒体として活用するとともに、歩こうマップウォーキングイベントを実施するなど、各世代の健康づくりのきっかけとなるよう啓発していく。

また、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施は、後期高齢者を対象としたフレイル予防、外出促進等を目的とし、対象地区を 6 地区に増やし、保健師による対象者への訪問や地域における高齢者サロンなどを実施した。今後も引き続き、当取組みにより後期高齢者の健康づくりに働きかけていくとともに、市内 12 地区の全ての日常生活圏域で実施できるよう、順次、実施地区を拡大していく。

③休養・睡眠

〈重点施策〉望ましい生活習慣や休養・睡眠の重要性の周知啓発

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) 健康づくり出前講座	実施回数 3 回、参加者数 58 人	皆増

【取組みの評価及び今後の方向性】

健康づくり出前講座では、令和 5 年度から新たに睡眠・休養をテーマとした講座を実施した。引き続き、講座の開催や検診受診時の個別指導などを通じて、睡眠・休養の重要性を周知啓発していく。

④飲酒

〈重点施策〉飲酒が健康に及ぼす影響と正しい知識の周知啓発

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) 特定保健指導	積極的支援 438 人 動機付け支援 1,015 人	増 (積極的支援)

【取組みの評価及び今後の方向性】

特定健康診査受診者のうち特定保健指導の対象となった者に、生活習慣改善のための支援を実施した。引き続き支援を継続し、飲酒に係る改善支援を行う他、広報春日井、市ホームページなどを通じて、市民に周知啓発していく。

⑤喫煙

〈重点施策〉喫煙が健康に及ぼす影響と正しい知識の周知啓発

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) ニコニコ防煙教室	実施回数 38 回、参加者数 1,183 人	減

【取組みの評価及び今後の方向性】

市内 52 園中 38 園と多くの保育園・幼稚園で実施しており、実績はほぼ横ばいである。引き続き、若年世代に啓発を継続する他、世界禁煙デーなどを通じて、市民に対し禁煙や受動喫煙防止を周知啓発していく。

⑥歯・口腔

〈重点施策〉定期歯科健診の受診率の向上

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) フッ化物歯面塗布	全小学校 2,635 人、歯の健康教室 426 人	増
(2) フッ化物洗口	保育園等 38 園 1,193 人、小学校 1 校 369 人	増
(3) 後期高齢者歯科健診	1,391 人実施 受診率 16.4%	新規

【取組みの評価及び今後の方向性】

幼少期からフッ化物洗口を行うことで、将来に渡り虫歯になりにくい歯をつくることができることから、これまでの保育園等に加え、小学校 1 校をモデル校として実施した。

また、令和 5 年度から新たに実施した後期高齢者歯科健診は、本計画の成果指標の中間目標値 18.0%に近い実績となった。

今後は、フッ化物洗口の対象小学校を拡大するとともに、歯科健診の受診を勧奨するなど、各世代の生涯にわたる口腔衛生の維持を推進し、定期的な歯科健診の受診を啓発していく。

施策2 生活習慣病の二次予防

①がん

〈重点施策〉がん検診の受診率の向上、特定健康診査の実施率の向上

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) 各種がん検診	①胃がん：7,693 人（減）、 ②大腸がん：17,346 人（減） ③肺がん：20,658 人（減） ④子宮がん：12,327 人（増） ⑤乳がん：12,470 人（増） ⑥前立腺がん：8,488 人（減）	左記のとおり

【取組みの評価及び今後の方向性】

毎年度、無料クーポン未使用者に対してハガキでの受診勧奨を実施しているが、がん検診の種類により増減の実績が異なっている。

引き続き、受診率の向上を図るため、ハガキによる受診勧奨に加え、市公式 LINE などを活用し啓発することで受診率の向上を図っていく。

②循環器疾患・糖尿病

〈重点施策〉特定健康診査の実施率の向上

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) 特定健康診査	受診者数 12,853 人	減
(2) 通知や電話による受診勧奨、保健指導	リーフレット配布対象者 360 人 電話による保健指導 29 人	減

【取組みの評価及び今後の方向性】

特定健康診査の受診者数は減少傾向にあるが、実施率はほぼ横ばいである。引き続き、受診者数と実施率を向上し、受診者の中から高リスク者を特定し、保健指導につなげていく。

③COPD

〈重点施策〉COPD の認知度の向上

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) 広報や市ホームページ、SNS 等による情報発信	禁煙週間において、図書館でのパネル展示で COPD に関するリーフレットを配布	—

【取組みの評価及び今後の方向性】

これまで、COPD に特化した取組みは実施してこなかったため、市ホームページに新たに COPD の周知啓発に特化したページを作成するとともに、禁煙や受動喫煙に関する周知啓発の機会を捉えて、COPD の認知度の向上を図るための周知啓発を行っていく。

施策4 食育の推進〈重点施策〉共食の重要性や食育への関心の向上を図るための周知啓発

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) こどもの健康教室	実施回数 7 回、参加者数 250 人	増

【取組みの評価及び今後の方向性】

保育園や小学校など、幼少期からの食育に関する教室や講座の実施は、参加者アンケート結果からも理解度が非常に高く、効果的な啓発ができている。引き続き、機会を捉えて周知啓発を行っていく。

施策5 感染症等の疾病への対応**〈重点施策〉定期予防接種の勧奨****【主な取組みの実績】**

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) 定期予防接種	・ B型肝炎、ロタ、ヒブなど、子ども向け予防接種は実施数、実施率は、毎年度高い。 ・ 子宮頸がん予防接種は、実績が低い。	左記のとおり
(2) 風しんワクチンの追加的対策	抗体検査 615 件 予防接種 87 件	減

【取組みの評価及び今後の方向性】

定期予防接種は、毎年度、対象者に接種券や勧奨ハガキを送付し、接種勧奨しているが、子宮頸がん予防接種は、過去にワクチンの副反応による積極的勧奨の差し止めがあり、解消されたものの、現在の実績低迷の要因になっている。

引き続き、必要な予防接種を対象者に受けてもらうよう、接種勧奨を行っていく。

施策6 地域保健の充実と地域医療の確保**〈重点施策〉ボランティアの育成・かかりつけ医・歯科医・薬剤師を持つことの周知啓発****【主な取組みの実績】**

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) 健康マイスターの養成	養成人数 5 人	減
(2) かかりつけ医・歯科医師・薬剤師の普及	広報かすがいへの特集記事掲載 市政だより制作（市公式 YouTube） 健康救急フェスティバルで講演会開催 等	—

【取組みの評価及び今後の方向性】

健康マイスターは養成人数が低迷し、ヘルスマイトを含め、成果指標であるボランティアの登録者数について、毎年度一定数を確保していく必要がある。

今後は、周知方法などを工夫し、興味を持ってもらえるよう、チラシやSNSなど、複数の媒体を活用しながら啓発を進めていく。

施策8 自殺予防の周知啓発による社会全体の自殺の危険性の低下

〈重点施策〉自殺予防や心の健康に関する周知啓発、社会的孤立を防ぐための周知啓発

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) 「こころの体温計」による周知啓発	アクセス数 27,023 件 市内の中高生及び小中学校の養護教諭並びに 市内公共施設に周知カードを配布	増

【取組みの評価及び今後の方向性】

アクセス数は年々増加しており、配布先を増やしたことによる周知の効果が出ている。引き続き学校等での配布を行い、自身の心の健康に気づきを与える周知啓発を推進する。

施策9 自殺の危険性が高い人の早期発見と早期対応

〈重点施策〉ゲートキーパーの養成、相談窓口の周知啓発

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) 市民向けゲートキーパー養成講座	民生委員及び児童委員 242 人	増
(2) ヤングケアラーコーディネーターの配置	新規相談 12 件、延べ 115 件	増

【取組みの評価及び今後の方向性】

ゲートキーパーの養成は実績が増加し、令和4年度から新たに実施したヤングケアラーコーディネーターの配置、学校におけるスクールカウンセラーなどの対応、妊産婦に対する相談事業など、多方面にて取組みを実施している。

引き続き、専門職による相談やケアを行い、必要に応じて専門機関へのつなぐ取組みを行っていく。

施策 10 自殺の再発防止と自死遺族などへの支援

〈重点施策〉自殺未遂者等への支援に関する情報提供

【主な取組みの実績】

取組み名	実績	前年度比較 (実績の増減)
(1) リーフレット・パンフレットの配布	自殺未遂者に対して相談先を記載したリーフレットを配布	—

【取組みの評価及び今後の方向性】

市ホームページにおいて、自死遺族への支援に関する相談先などの情報を掲載するとともに、救急外来を利用した自殺未遂者に対しては、リーフレットを配布することで、直接、情報提供を行っている。引き続き、取組みを継続していく。